

地域の自然と文化を残そう!



NPO法人
浜松市東区の自然と文化を残そう会

<http://jikkoike.com/sample-page/>



郷土の偉人で大正時代の俳人、松島十湖が愛した十湖池。'90年代に涸れてしまったが、平成11年に着工、往時の豊かな自然を甦らせた「十湖池ビオトープ」を100年後まで存続させたい。そんな願いから平成22年に団体発足、平成27年にNPO化しました。

地元の方々の憩いの場となり、子供達の豊かな環境教育の場となることを通して地域に貢献することを、また、松島十湖の事蹟を宣揚し、地域が「俳句の里」として特色を出す一助となることも目標としています。

十湖池ビオトープでは70種の樹木を植え、生物多様性が高く、カブトムシが繁殖していて採集が楽しめます。静岡県自然保護課と提携し、環境省レッドリストIB、天竜川で野生絶滅したカワバタモロコの最後の個体群を野生復帰のために保護育成しています。

年6回、様々な自然体験イベントを実施し、スタッフを含め年間500名程が集まります。春にサツマイモの苗を植えていただき、秋に収穫して焼き芋にして食べる農業体験、駆除を兼ねたアメリカザリガニ釣り大会など、人気コンテンツを沢山創出しました。

会員による出前授業を小学校、幼稚園等で年間10回近く実施。大勢の高校生や社会人にボランティア体験の場を提供。さらに令和4年度から「個人植樹」と銘打って、お客さんにポットにどんぐりの芽生えを植えて頂き、ビオトープで育て、山に植樹する事業を始めました。これからも社会貢献を頑張ります!



アメリカザリガニ釣りは大人気。寒い季節以外は、子供達が大勢釣りに来ています。



夏季イベント「十湖池アドベンチャー」にて、イベントでは100名近く集まります。